

# 地域とともに創る

## 高齢者の保健事業と介護予防の 一体的実施事業

長浜市高齢福祉介護課 福永まき絵

# 長浜市の概要

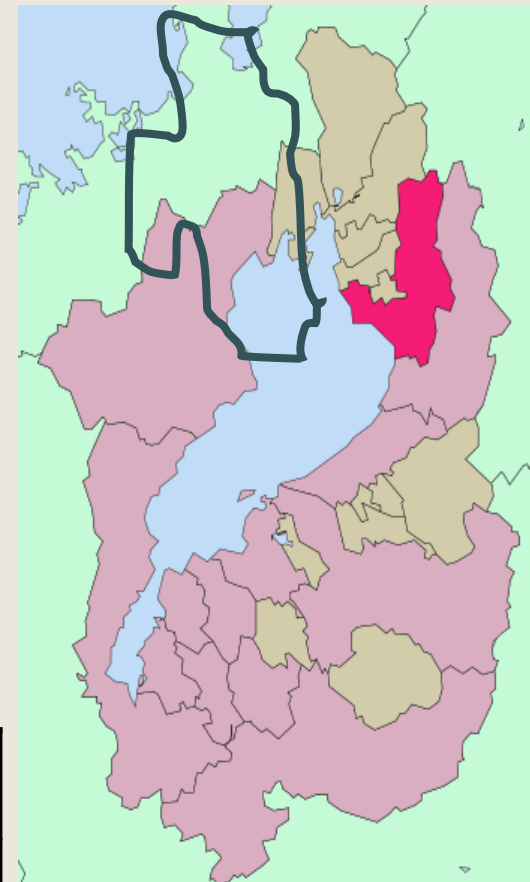
豊臣秀吉公が「今浜」を「長浜」に改名し、商人たちを集め楽市である城下町を作る。

周囲に伊吹山系の山々と琵琶湖があり風光明媚なまちであるとともに、国宝11面観音や長浜曳山まつりなど歴史的・文化的資産を有する観光もまちでもある。H22年1月 旧長浜市、旧虎姫町、旧湖北町、旧高月町、旧木之本町、旧余呉町、旧西浅井町が合併した。

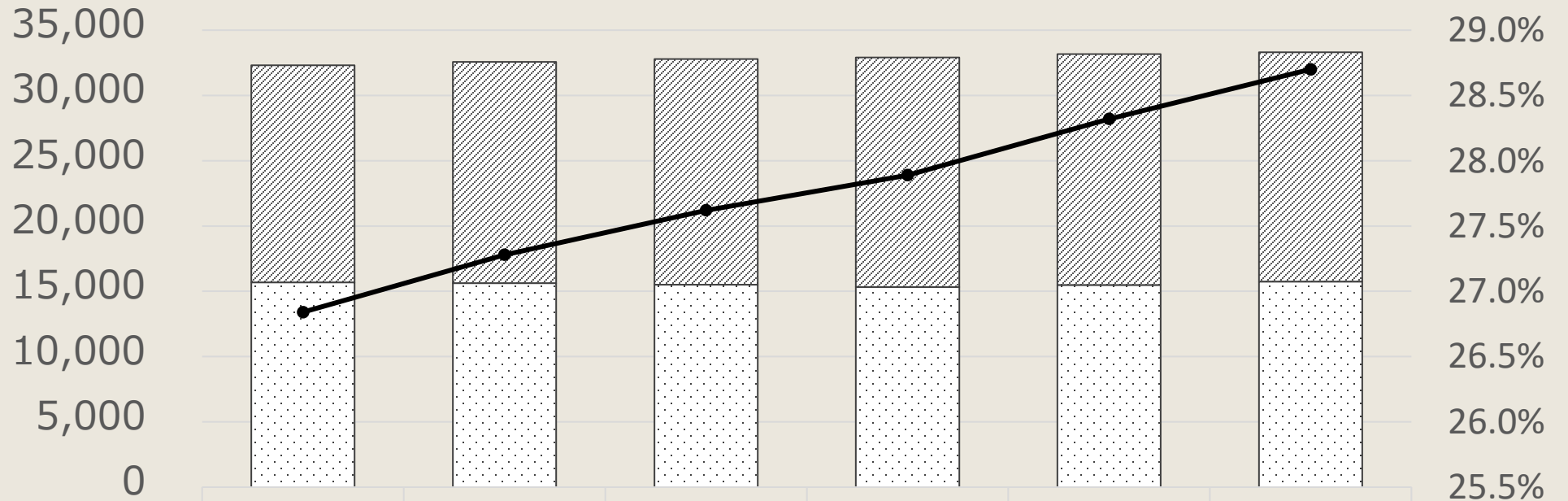
令和3年10月末現在

人口	116,087人
高齢者数	33,301人 高齢化率 28.69%
認定者数	6,599人 認定率 19.4%
	要支援者 1,631人 要介護者 4,968人

認定者数：介護保険事業状況報告（暫定） 令和3年9月末、認定率＝第1号被保険者の認定数／第1号被保険者数  
市人口、高齢化率：市民課統計

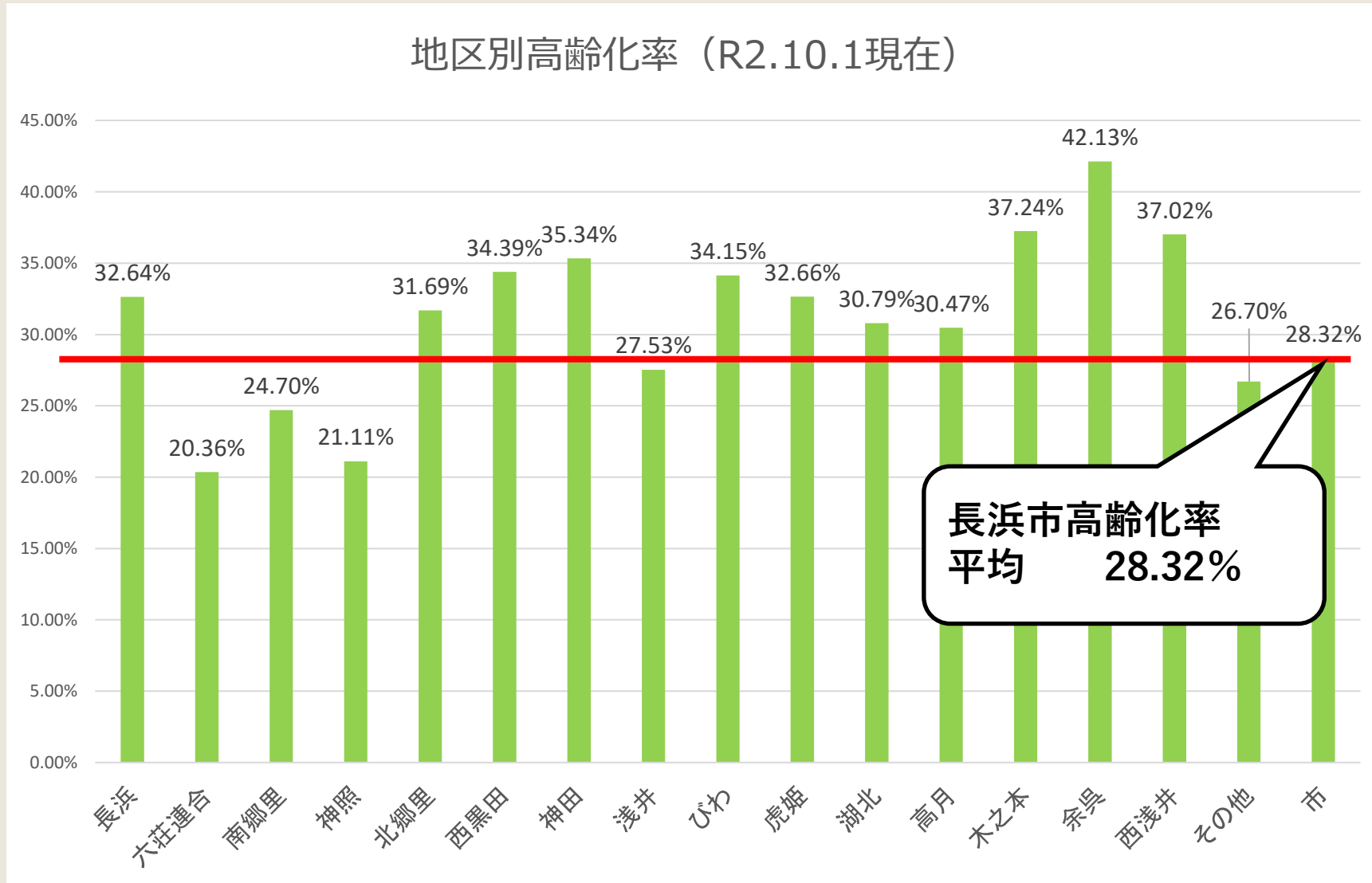


# 高齢者数と高齢化率



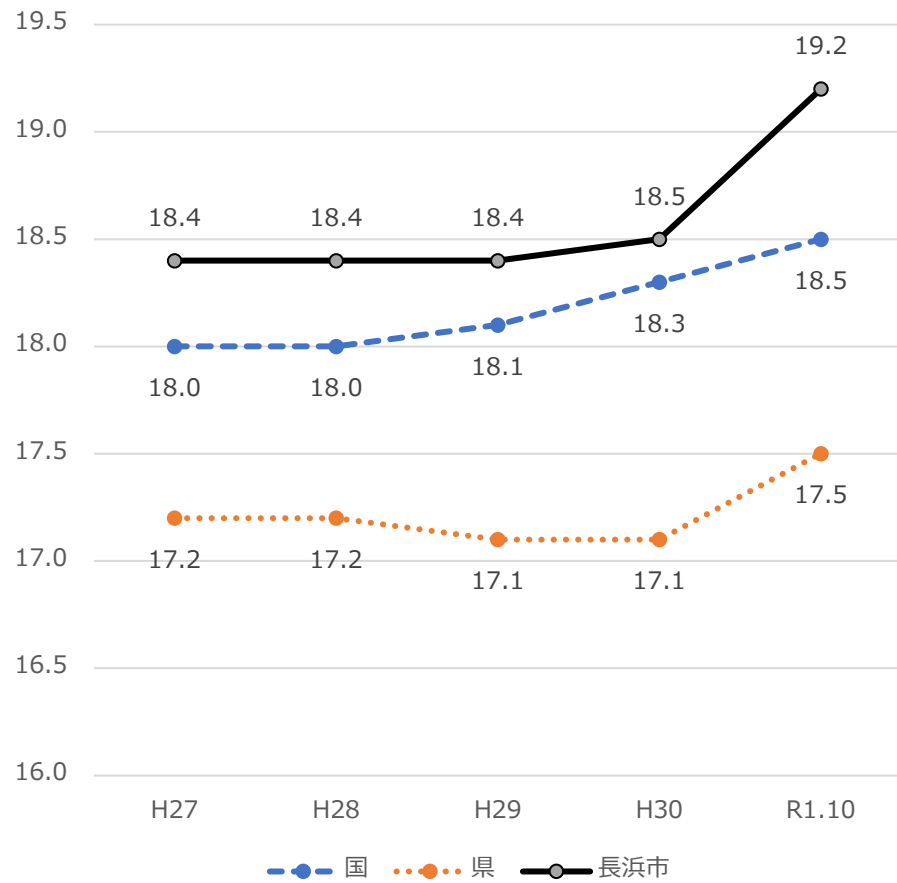
	H28	H29	H30	R1	R2	R3
75歳以上(人)	16,624	16,951	17,282	17,601	17,684	17,549
65~74歳(人)	15,681	15,629	15,503	15,319	15,479	15,752
高齢化率 (%)	26.8%	27.3%	27.6%	27.9%	28.3%	28.7%

# 長浜市の高齢者の状況（生活圏域別）

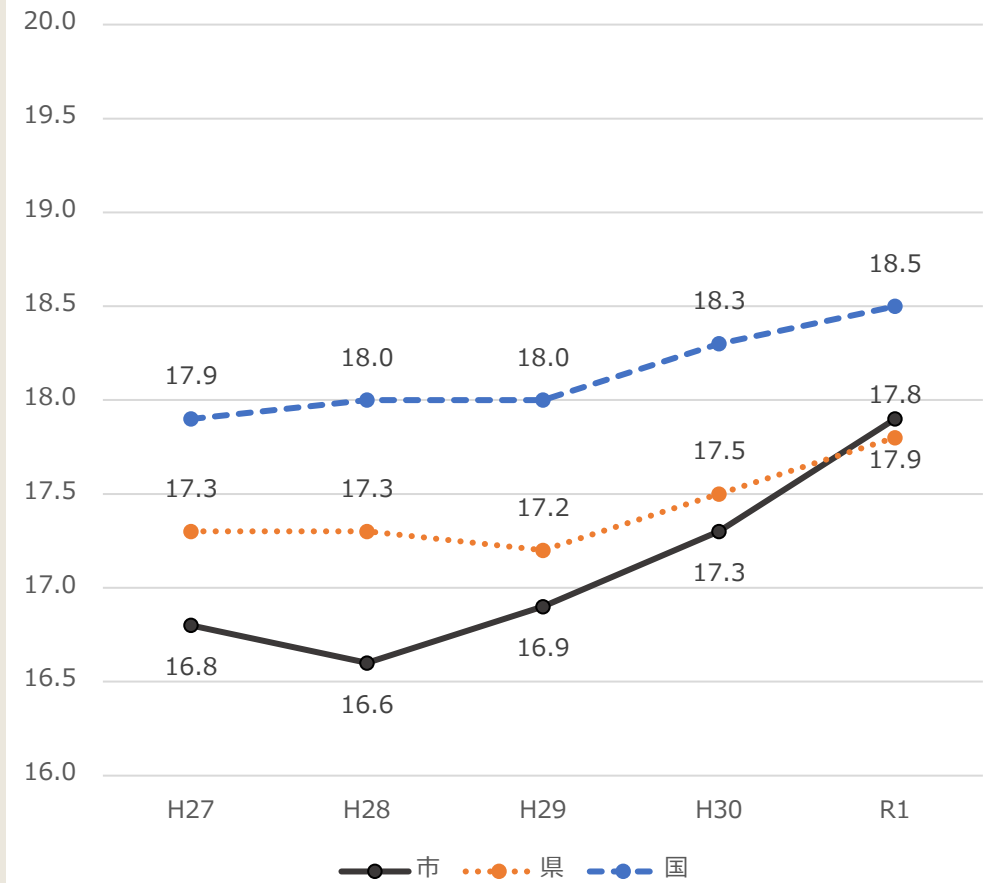


# 要介護認定率

## 要介護認定率 (%)

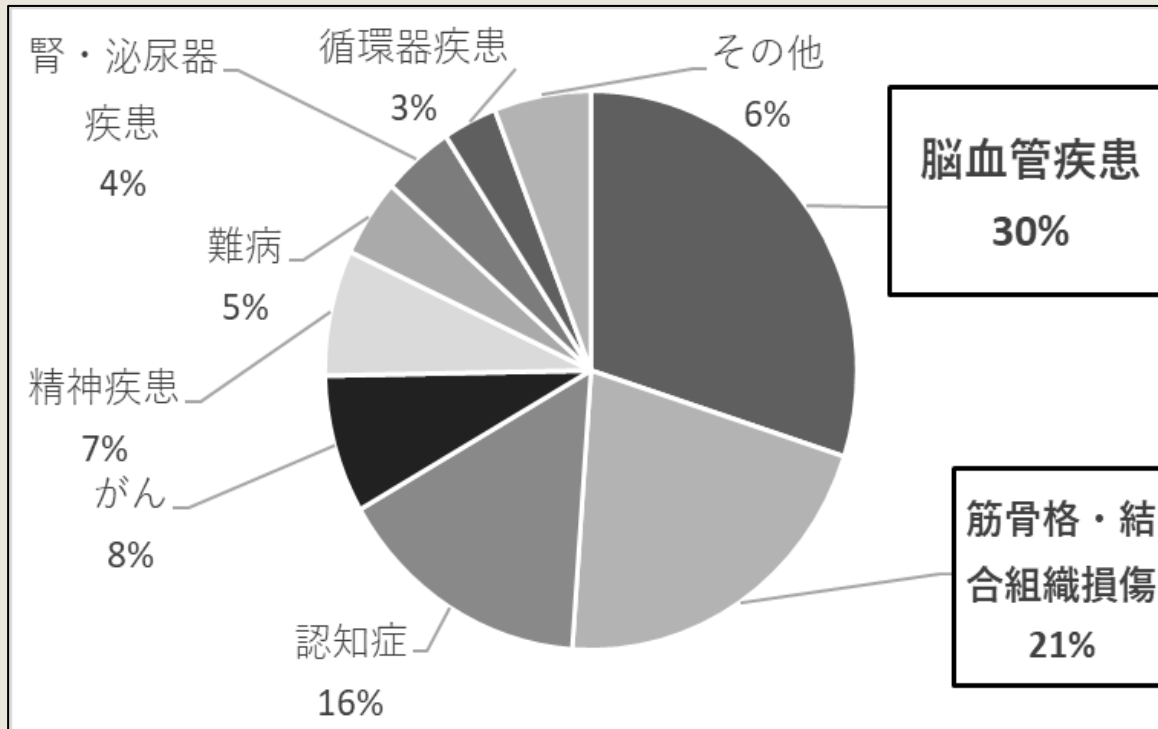


## 年齢調整 要介護認定率 (%)

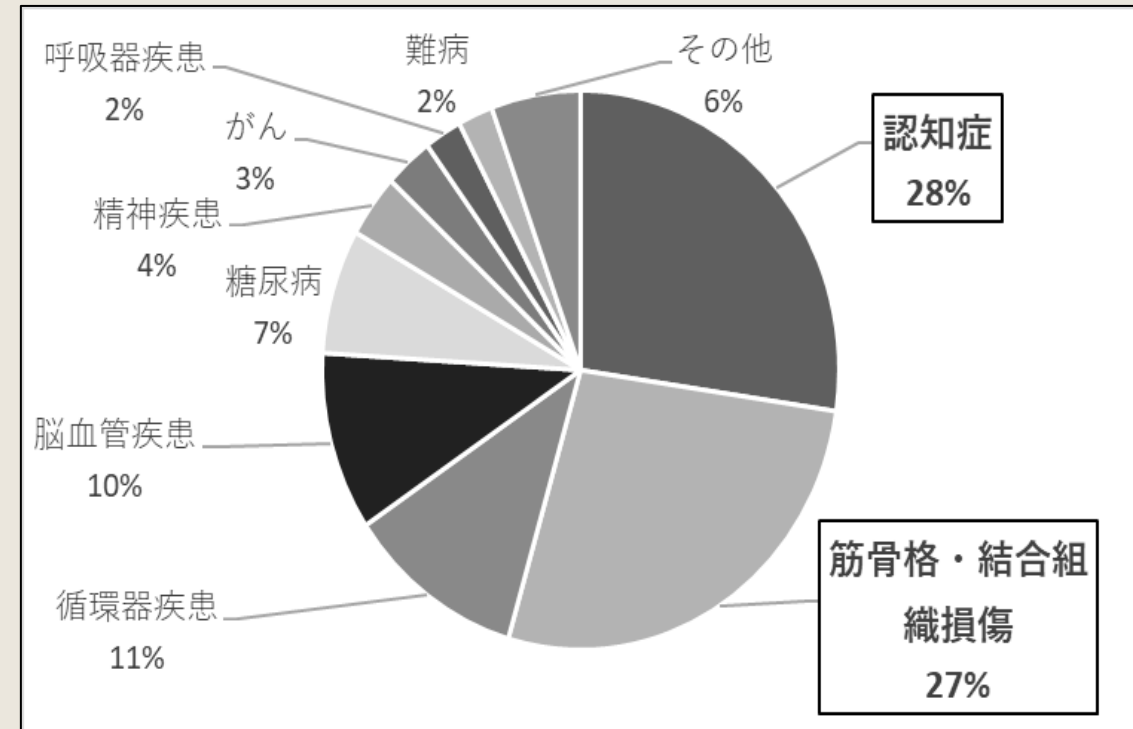


# 要介護認定の原因疾患

65-74歳 (H31.4現在) N=577

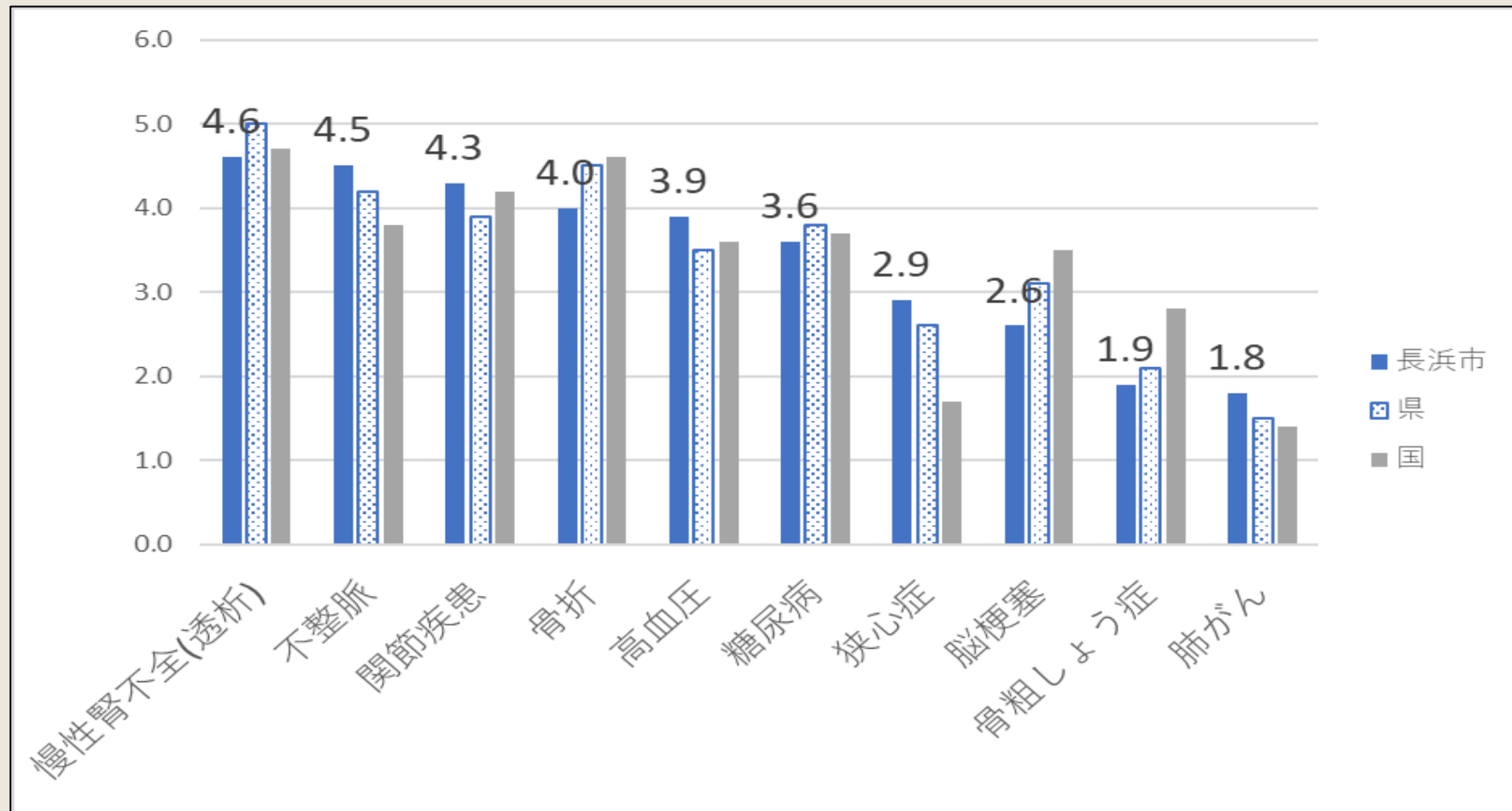


75歳以上 (H31.4現在) N=5,433



# 疾病別医療費割合

(入院+外来 細小分類 H30年度 %)



# 健康課題

- ・ 循環器疾患重症化予防

  - 『循環器疾患の重症化予防

    - ～生活習慣改善と治療で、血圧コントロールよし

    - 85歳を過ぎても元気な血管で活動的に過ごそう!～』

- ・ 運動器疾患予防

  - 『運動器疾患の重症化予防

    - ～運動を続けて筋力維持

    - 85歳をすぎても自治会館のサロンに歩いて行こう!～』



# 事業開始までの経過

## 令和元年度

4課協議をはじめめる。

(保険医療課、高齢福祉介護課、健康推進課、健康企画課)  
データから健康課題の分析、事業実施に向けた検討

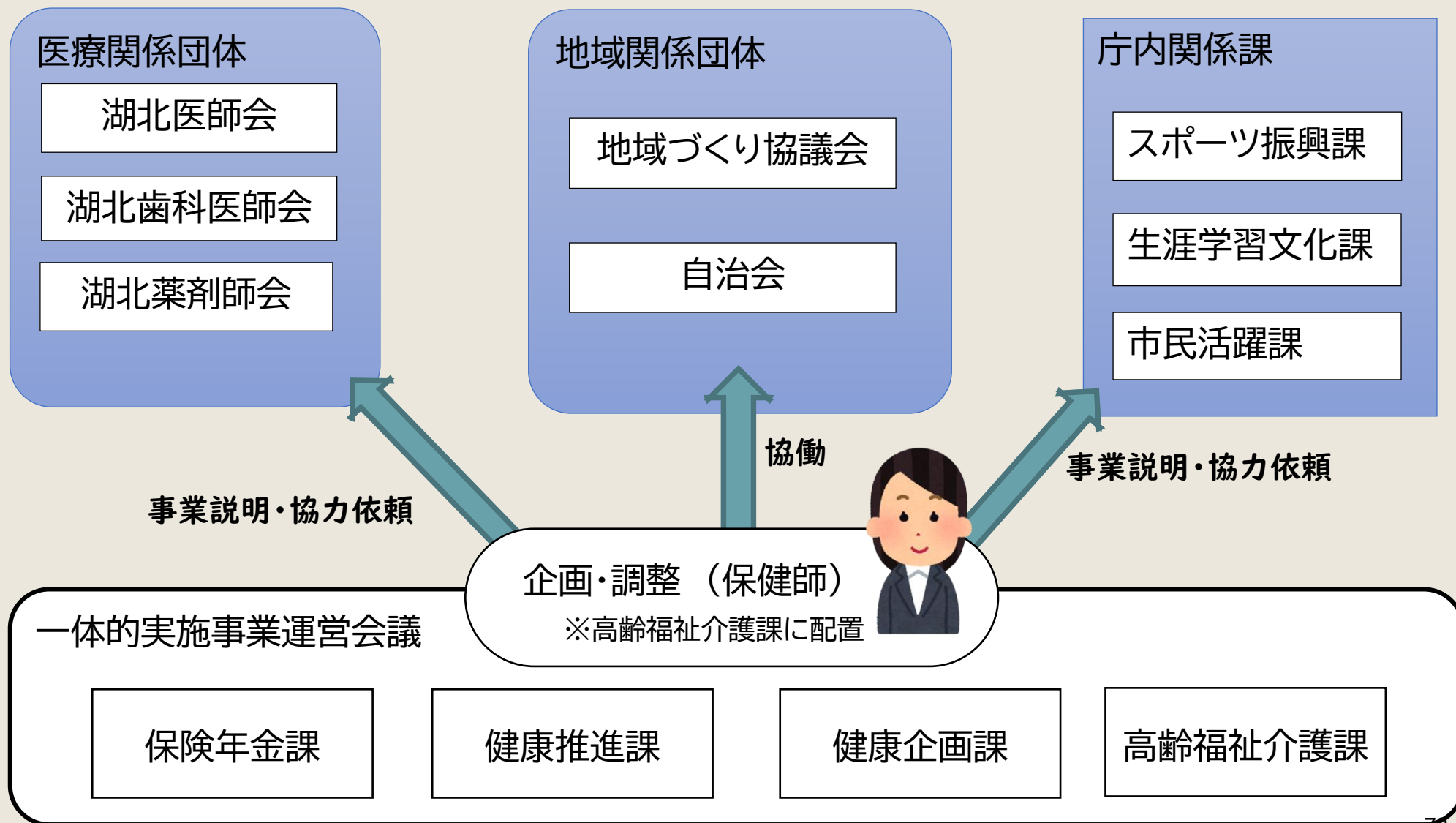
## 令和2年度

事業実施の決定、実施体制および事業内容の検討

## 令和3年度

事業を開始

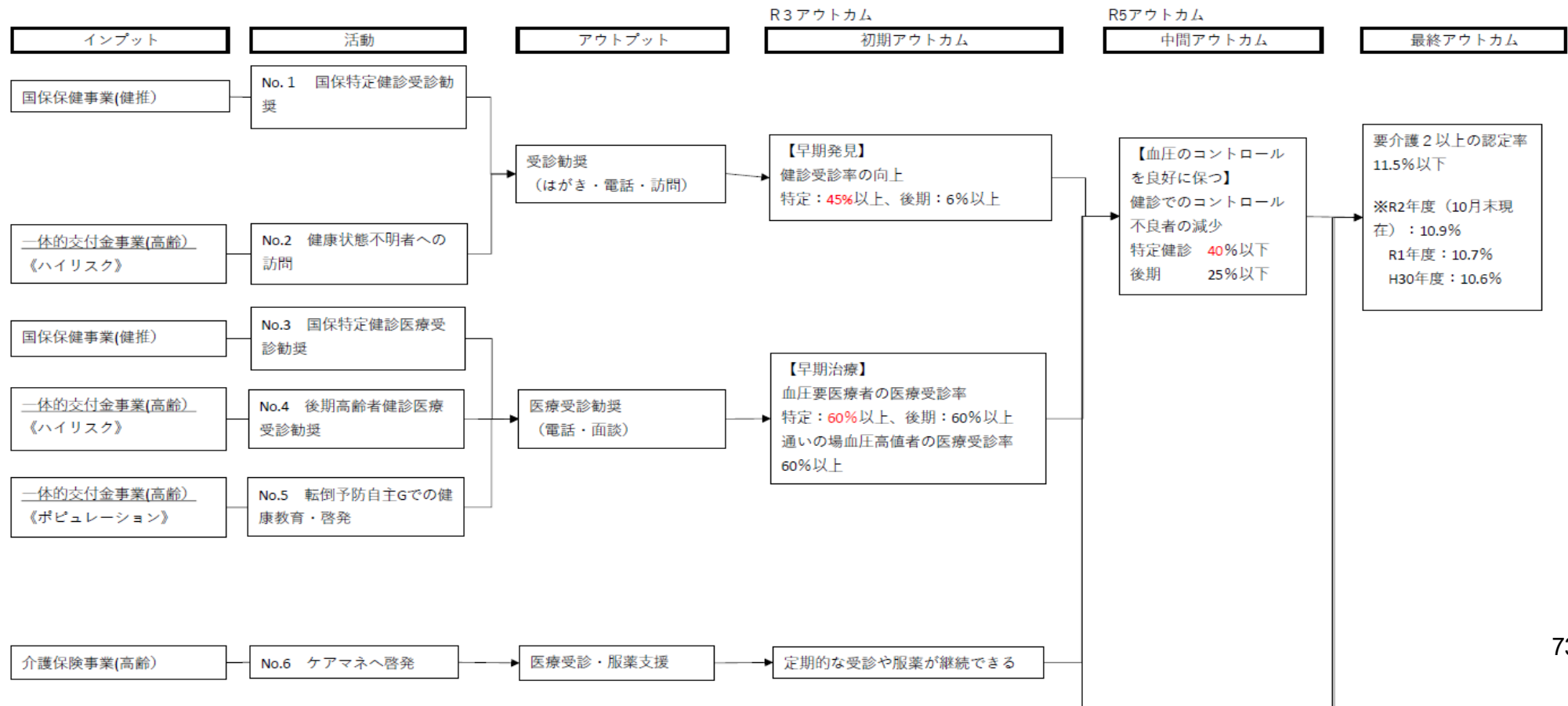
# 体制



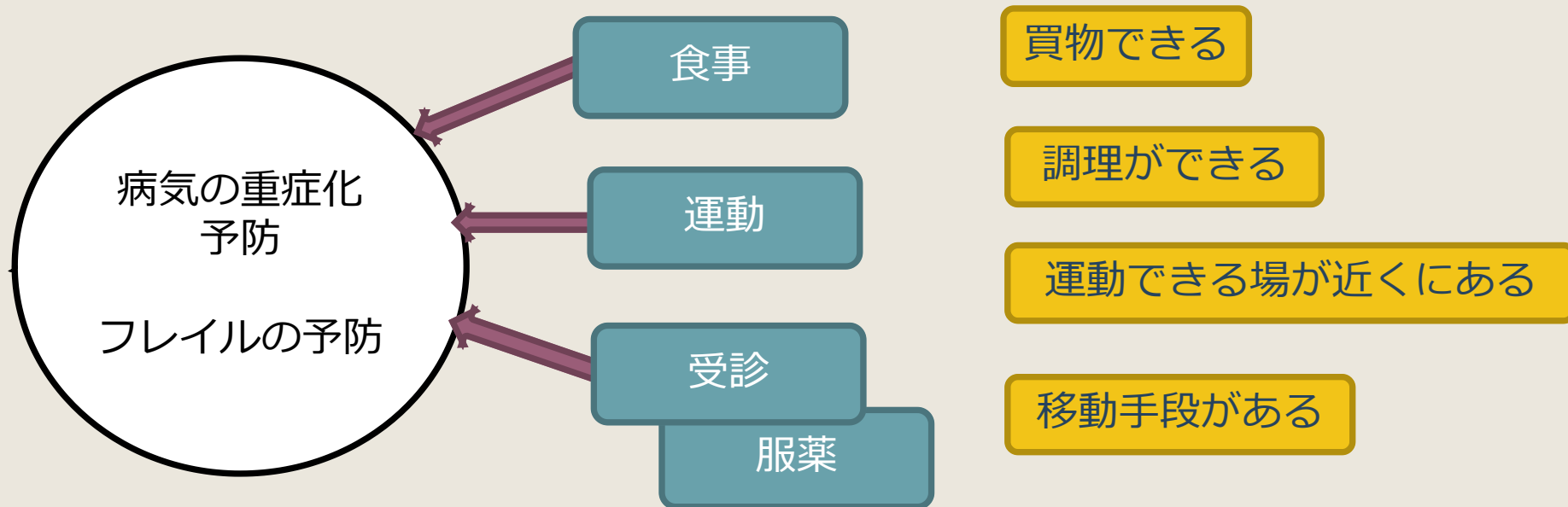
# 4 課の協力体制づくり

共通の目標のもと、既存事業を含めた事業体制づくり  
 →既存事業を含めたロジックモデル、事業計画を作成

1. 循環器疾患の重症化予防 ～生活習慣改善と治療で、血圧コントロールよし→85歳をすぎても元気な血管で活動的に過ごそう！～



# 地域との取組みを重視した事業づくり



生活の中で健康づくりができる環境が必要

⇒ 圏域を絞って、地域の健康課題を明らかにし、  
解決において地域団体と協働する

# 圏域の絞り込み

## ①医療費

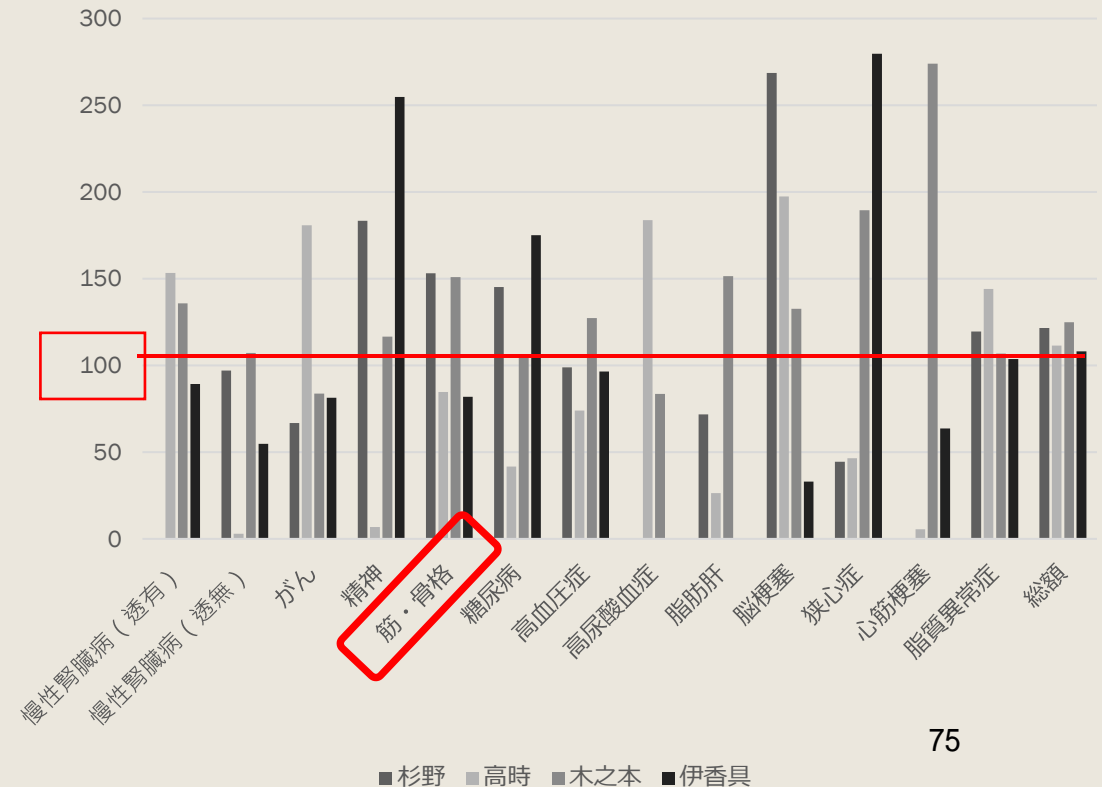
被保険者一人当たり生活習慣病医療費（R1年度累計、KDBデータから算出）

南郷里地区：脳出血、脳梗塞、狭心症、心筋梗塞の医療費が市平均より高い

木之本地区：筋骨格系の医療費が市平均より高い地域が2地域ある。

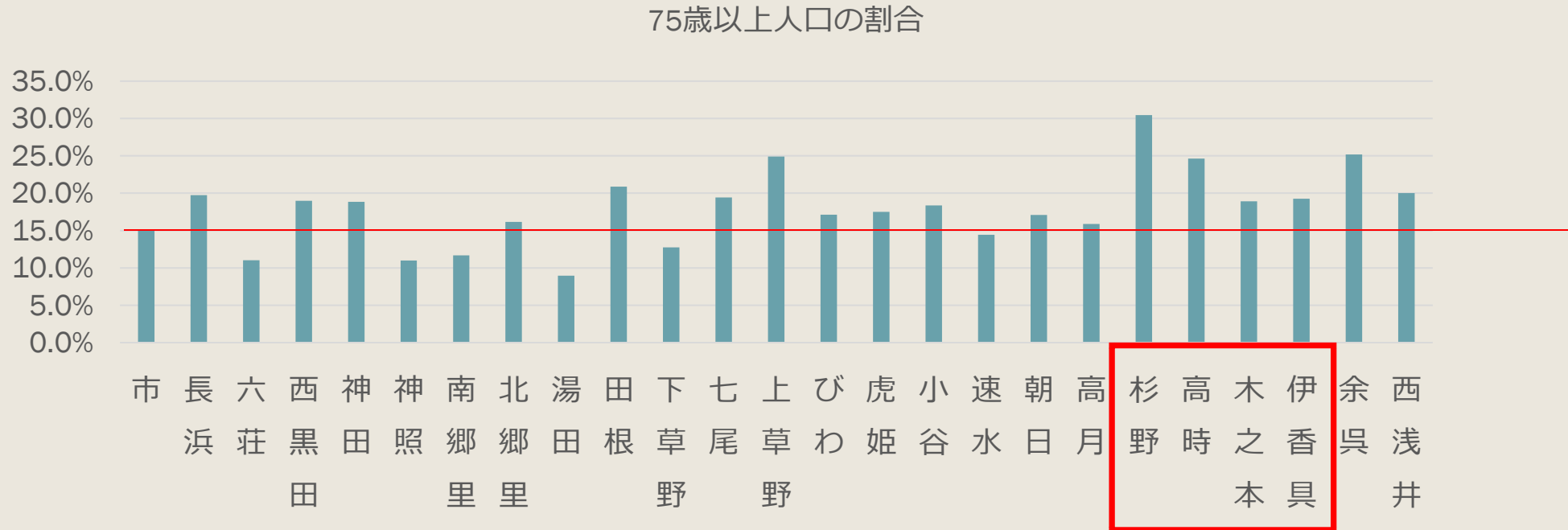
南郷里

木之本地区



## ②その他の地域の特徴

- ・75歳以上人口割合 木之本地区は市平均より高い



### ・医療機関

南郷里地区は内科のクリニックが5か所あり  
木之本地区は総合病院（整形外科）あり  
→医療受診が勧めやすい

# 事業内容（交付金事業）

2圏域（南郷里、木之本）で実施。

南郷里：循環器 木之本：フレイル

保健師・管理栄養士の2名が中心となって実施

## 【ハイリスク】

- ・南郷里：血圧脂質未治療者に対する受診勧奨&保健指導
- ・木之本：フレイルの疑いがある者に対する保健指導
- ・両地区：健康状態不明者の状況把握と  
必要に応じた健診・医療の受診勧奨や  
介護保険のサービス利用勧奨

## 【ポピュレーション】

サロンや転倒予防体操自主グループでの健康教育と健康相談  
健康教育のテーマ

南郷里：高血圧の重症化予防とフレイル予防

木之本：フレイル予防

# 地域、関係団体との連携

事業開始前に、事業の説明および協力依頼を実施

【医師会】 【圏域内の開業医】



高血圧の人は多いよ。田畑仕事が多いからか、筋骨格系の疾患も多いね。治療に来なくなる人がいて、気になっているよ。

【地域づくり協議会】 【民生児童委員協議会】

【地区社協】 【老人クラブ連合会】

地域専門職連携会議にて協力を依頼。

地域団体への橋渡しを生活支援コーディネーターに紹介を依頼しました。



地域のこと  
なら任せて！



フレイルのことが心配。  
みんなに伝えてほしい。



# 地域ケア会議

## ○地域専門職連携会議○

目的：各専門職が、それぞれの専門分野からの地区課題を出し合い、課題の共有を図り、課題解決に向けた方法の検討、課題に応じた検討の場に課題と解決方法を提示する。



15生活圏域で実施

# 生活支援体制整備事業

## 生活支援コーディネーターとは

高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう**住民主体の活動をはじめとした多様な資源の充実**に向けた地域づくりのコーディネーター。

主に小地域（第2層）を単位として、生活支援活動やサービスの開発に向けた調査、検討を住民のみなさんと共に取り組んでいます。



# 事業実施結果① ハイリスク：血圧脂質

【対象者】令和2年度の健診において  
血圧(140/90mmHg以上)またはLDLコレステロール140mg/dl以上  
かつ糖尿病・脂質異常症・高血圧・循環器疾患で治療を受けていない人

【対象人数】6人

【実施内容】訪問にて生活・治療状況を把握、  
必要に応じて医療受診勧奨や3か月間の保健指導を実施する

【結果】5人に訪問。1人は家族から状況を聞き取った(本人には会えず)。  
すべての人が健診の結果は把握していたが、医師から受診勧奨されていなかった。  
毎日血圧を測定している人が2人おり、保健指導の必要性がなかった。

医療受診勧奨した人 0人

保健指導を実施した人 0人

## 事業実施結果② ハイリスク：フレイル

【対象者】令和2年度の健診において問診票にて  
「6か月間で体重2～3kg減少」「歩く速度が遅くなった」「1年間で転倒したことあり」  
のいずれかに回答した人

【対象人数】35人

【実施内容】訪問にて生活・治療状況を把握、  
必要に応じて医療受診勧奨や3か月間の保健指導を実施する

【結果】33人に訪問し、うち30人は本人と面談し、3人は家族から状況を聞き取った。  
本人・家族に出会えなかった2人にはアンケートを送付し、状況を確認した。  
ほとんどの対象者が問診票の記入内容を記憶していなかったり、体重減少や転倒した  
時期の記憶があいまいであり、保健指導を希望されなかった。  
医療受診勧奨した人 0人  
保健指導を実施した人 0人

# 事業実施結果③ ハイリスク：健康状態不明者

【対象者】令和2年度において  
健診未受診かつ医療(歯科は除く)未受診かつ介護保険サービス未利用の人

【対象人数】77人

【実施内容】訪問にて生活・治療状況を把握、  
必要に応じて医療受診勧奨や介護保険サービスの利用勧奨  
地域の通いの場の紹介を実施する

【結果】70人に訪問し、うち64人は本人と面談し、4人は家族から状況を聞き取った。  
本人・家族に出会えなかった5人にはアンケートを送付し、3人から返却があり状況を確認した。  
2人については、レセプトにて受診していることを確認した。  
75人の状況把握(97%)ができた。

状況把握ができた人のうち、3人は介護保険サービス利用勧奨のため、地域包括支援センターにつないだ。介護保険サービス利用勧奨中の人2人、医療受診勧奨後の結果確認をする予定の人1人あり。

## 事業実施結果④ : ポピュレーションアプローチ

【対象】活動をしているサロン・転倒予防体操自主グループ

【対象団体数】

南郷里:13団体

木之本:19団体

【実施内容】 健康教育・健康相談を実施

【結果】

南郷里:8団体

木之本:12団体

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、開催を中止・延期される団体が多く、2回目の健康相談は実施できなかった。

# 事業結果と来年度の方向性について

## 【ハイリスク】

- ・ 健康状態不明者  
介護保険サービス利用や医療受診が必要な人が発見できた。  
アウトリーチ支援として今後も実施。  
ただし、対象者については検討する。
- ・ 血圧脂質、フレイル  
保健指導に至らず、対象者の抽出に検討が必要。  
レセプトから？ 健診結果から？  
健診受診者が少ないため、健診結果からの抽出では  
対象者が少なすぎる。  
圏域を絞りこんで保健指導を実施することは困難。

# 事業結果と来年度の方向性について

## 【ポピュレーション】

新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、  
事業実施予定が大きく変化した。

⇒代替策が必要

指導結果の確認をするために2回以上のかかわりをしようと  
すると、マンパワーが不足する。

⇒指導を委託



# 事業結果と来年度の方向性について

## 【地域との連携】

- ・ 地域課題が絞り込めた。  
南郷里：家族がいる人のほうが相談支援につながりにくい  
場合がある  
木之本：冬季（特に降雪期）の活動量低下による体力低下  
がみられる
- ・ ゴールはどこ？  
地域の健康課題について、地域団体が解決に動き出せるよう  
支援する。  
地域の団体が解決につながる事業が継続して実施できるように  
支援体制を作る。

# 最後に...



とにかく悩みながら、  
手探りでやってきた1年間でした。  
初めての事業。成果は？ ゴールは？

いろいろな関係者、地域の団体の方とお出会いし、話し合い、協力いただきました。  
ノーアポで突撃訪問しても、お話くださる住民さんに感謝です。  
いろいろ問い合わせをしても、快くご回答いただいたり協力いただける広域連合の皆様、他市町の担当者様、ありがとうございました。  
市町同士の情報交換できる場があるとありがたいです。



ご清聴、ありがとうございました。<sup>88</sup>